

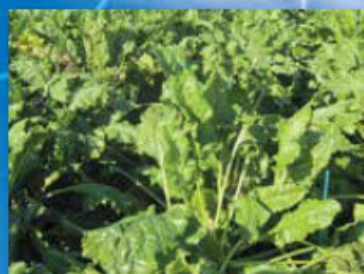
幅広い畑作物で使えます。

殺虫剤

# パイオフME<sup>®</sup> 液剤

てんさいのヨトウムシ

ばれいしょ・豆類・小麦のアブラムシ防除に速効性の一撃



新ラベルデザイン



アグロ カネショウ株式会社  
東京都港区赤坂4-2-19

# パイオフME® 液剤

成分：フルシトリネート……………4.4%

## 適用害虫及び使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用時期	本剤の使用回数	フルシトリネートを含む農薬の総使用回数	使用方法
豆類(種実、ただし、だいず、あずき、らっかせいを除く)	アブラムシ類	2000	100~300	収穫7日前まで	3回以内	3回以内	散布
えだまめ							
だいず	アブラムシ類 マメシクイガ						
あずき	アブラムシ類 アズキノメイガ						
キャベツ	アオムシ アブラムシ類 ヨトウムシ	1000~2000		収穫21日前まで	4回以内	4回以内	
	コナガ	1000					
はくさい	アオムシ	1000~2000		収穫21日前まで	3回以内	3回以内	
だいごん	アブラムシ類			収穫30日前まで			
ばれいしょ	アブラムシ類	500	25	収穫7日前まで	4回以内	4回以内	
	オオニジュウヤホシテントウ カメノコハムシ	2000					
てんさい	ヨトウムシ	1000~2000	25	収穫14日前まで	4回以内	4回以内	
	ヨトウムシ	500					
たまねぎ	ネギアザミウマ	1000~1500	100~300	収穫7日前まで	2回以内	2回以内	
小麦	アブラムシ類	2000	60~150	収穫14日前まで	2回以内	2回以内	
未成熟とうもろこし			100~300		1回	1回	
にんじん	ヨトウムシ				3回以内	3回以内	
おうぎ	アブラムシ類			収穫7日前まで			

平成27年11月現在

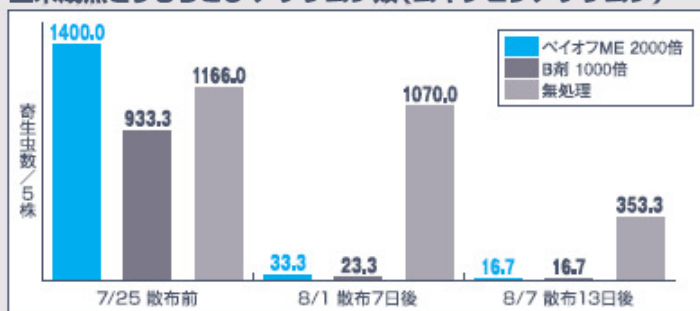
## 試験事例

### ■にんじん ヨトウムシ



- 試験場所：中央農業試験場 場内露地ほ場
- 品 種：向陽二号
- 播 種 日：平成20年5月13日
- 区 別：1区 18.0㎡(3.6×5.0m)、3連制
- 処 理 日：6月25日、7月2日
- 処 理 量：100ℓ/10a
- 発生量：蒸(6月17日 放虫)
- 調 査：卵塊を接種した10株を含む各区25株について、6月24日に被害株数、7月1日に寄生虫数と被害程度、7月8日に被害程度を調査。
- 処 理 量：10000倍を添加
- 平成20年 北海道立中央農業試験場

### ■未成熟とうもろこし アブラムシ類(ムギクビレアブラムシ)



- 試験場所：札幌市清田区有明研究農場
- 品 種：味来390
- 播 種 日：平成20年5月22日
- 区 別：1区 10.5㎡(2.1×5.0m)、42株、3連制
- 処 理 日：7月25日、8月1日
- 処 理 量：200ℓ/10a
- 発生量：多
- 調 査：7月25日、28日、8月1日、7日に1区マーク株5株の雄穂及び上位3葉の寄生虫数を調査。
- 平成20年 (社)北海道植物防疫協会

## ⚠ 効果・薬害等の注意

- 本剤は凍結後、融解した際には分離することがあるので、使用に際しては容器をよく振ってください。
- てんさい及びばれいしょに対して少量散布する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型速度連動式地上液剤散布装置を使用してください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
  - ①ミツバチの巣箱及びその周辺にからないようにしてください。
  - ②関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 蚕に対して長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、薬に付着する恐れのある場所では使用を避けてください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめ使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を謝らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

## ⚠ 安全使用上の注意

- 医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体

- に異常を感じた場合には直ちに医師の手当をうけてください。
- 本剤による中毒に対しては、実験動物でメトカルパーモル製剤の投与が有効であると報告されています。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 本剤はのど、鼻、皮膚などを刺激する場合がありますので注意してください。
- 夏期高温時の使用をさけてください。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物との接触をさけてください。
- 散布の際は保護眼鏡、防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用してください。また散布液を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は直ちに身体を洗い流し、洗顔うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。

- 魚毒性…水産動植物(魚類、甲殻類)に強い影響を及ぼす恐れがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。養殖池周辺での使用はさけてください。使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 保 管…直射日光をさけ、鍵のかかるなるべく低温な場所に密栓して保管してください。盗難、紛失の際は警察に届け出てください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●空容器等は農場などに放置せず、適切に処理してください。